平成 23 年度 大栄経理学院

第 11 回建設業経理士試験 模範解答

2 級

〔第1問〕

		借	方		貸	方
	記号	勘定科目	金 額	記号	勘定科目	金額
(1)	В	当 座 預 金	493, 750	Р	手 形 借 入 金	500,000
(1)	Y	支 払 利 息	6, 250			
(2)	Z	投資有価証券評価損	1, 520, 000	J	投資有価証券	1, 520, 000
	Т	繰越利益剰余金	2,000,000	M	未 払 配 当 金	1,000,000
(3)				R	利 益 準 備 金	100,000
				S	別 途 積 立 金	900, 000
	Н	機械装置	300,000	В	当 座 預 金	500,000
(4)	Q	修繕引当金	150,000			
	X	機械等経費	50,000			
(5)	D	完成工事未収入金	2, 500, 000	U	完成工事高	2, 500, 000
(0)	W	完成工事原価	2,000,000	Е	未成工事支出金	2,000,000

〔第2問〕



〔第3問〕



記号 (AまたはB)



〔第4問〕

問 1

⇒ ⊐ □.	1	2	3	4
記号 (A~C)	В	A	С	A

間 2

			完	成工事原作	価報告書		
				平成 X1 年	10月	(単位: [円)
Ι.	材	料	費		6	605, 250	
П.	労	務	費		2	262, 410	
Ш.	外	注	費		3	396, 290	
IV.	経		費		256, 500		
	完	成工	事原	価	1, 5	520, 450	

現場共通費配賦差異月末残高 ¥ 561 記号(AまたはB) A

精 表

(単位:円)

			,	- 异				(単位:円)
事 空 到 日	残高声	式 算 表	整理	記入	損益言	├ 算 書	貸借業	寸 照 表
勘定科目	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金 預 金	187, 400						187, 400	
受 取 手 形	875, 000			18, 000			857, 000	
完成工事未収入金	835, 000						835, 000	
	i			18, 000				
貸倒引当金		30, 000		3, 840				51, 840
			8,900	690				
			8,000	61, 210				
未成工事支出金	850, 000		8,000	01, 210			825, 000	
			12,000					
材料貯蔵品	132, 000		12,000	8, 900			123, 100	
仮 払 金	300, 000			300, 000			123, 100	
建 物	750, 000		234, 000	300, 000			984, 000	
建物減価償却累計額	750,000	400, 000	234, 000	50, 000			304, 000	450, 000
機 械 装置	688, 000	400,000		50,000			688, 000	450,000
機械装置減価償却累計額	000,000	215 000		0 000			000,000	292 000
	480,000	315, 000		8, 000			490,000	323, 000
備 品減価償却累計額	480, 000	102 000		06 000			480, 000	200 000
	250 000	192, 000		96, 000			250 000	288, 000
投資有価証券	250, 000	270 000					250, 000	270 000
支払手形		370, 000		10.000				370, 000
工事未払金		560, 000		12, 000				572, 000
借 入 金		290, 000						290, 000
未成工事受入金		250, 000						250, 000
完成工事補償引当金		6, 700	690	CO 000				6, 010
退職給付引当金		380, 000		62, 000				450,000
次 士 △		1 000 000		8, 000				1 000 000
資本金		1,000,000						1,000,000
操越利益剰余金		182, 000				C 010 000		182, 000
完成工事高		6, 010, 000				6, 010, 000		
受取利息配当金	0.710.000	1,500	61 010		0.701.010	1,500		
完成工事原価	3, 719, 800		61, 210	7.000	3, 781, 010			
		i	18, 000	7, 000				
			3, 840					
时去弗刀~> 机然和弗	000 000	i	50,000		1 105 040			
販売費及び一般管理費	882, 000	i	96,000		1, 195, 840			
		i	66,000					
			62,000					
			25, 000					
支 払 利 息	38, 000	0.005.55			38, 000			
	9, 987, 200	9, 987, 200			 			
不渡手形			18,000				18,000	
前払保険料			7,000				7,000	
未 払 金				25,000				25, 000
未払法人税等				398, 660				398, 660
法人税、住民税及び事業税			398, 660		398, 660			
			1, 077, 300	1, 077, 300	5, 413, 510	6, 011, 500	5, 254, 500	4, 656, 510
当期(純利益)					597, 990			597, 990
					6, 011, 500	6, 011, 500	5, 254, 500	5, 254, 500

〈2級解説〉

[第1問]

- (1) 手形を使ってお金を借りたときは「手形借入金」勘定で処理する。金銭の貸借などの金融取引では「受取手形」勘定や「支払手形」勘定は使用しないので注意すること。
- (2) 有価証券の取得時に手数料等の付随費用がかかったときは、有価証券の取得原価に含める。よって評価 替前の有価証券の帳簿価額は¥2,520,000(=@¥500×5,000 株+¥20,000)である。

投資有価証券評価損:時価@¥200×5,000株-簿価¥2,520,000=△¥1,520,000

- (3) 利益処分の財源は繰越利益剰余金なので、これを減少させる。
- (4) 補修代金¥500,000 のうち、改良は固定資産の価値をより高めるための支出(資本的支出)なので固定資産の取得原価に加算する。
- (5) 工事進行基準では、工事原価総額に対する各期の発生原価の割合により、工事の進捗度を見積もり、その進捗に応じた工事収益を計上する。

[第2問]

(1) 総合償却法は、複数の固定資産をグルーピングし一括償却する方法である。償却には固定資産の平均耐用年数が使われる。

要償却額合計: (¥1,000,000 - ¥100,000) + (¥2,000,000 - ¥200,000) = ¥2,700,000

機械Aの年間償却額: (¥1,000,000-¥100,000)÷12年=¥75,000機械Bの年間償却額: (¥2,000,000-¥200,000)÷8年=¥225,000

平均耐用年数: \(\forall 2,700,000 \div (\forall 75,000 + \forall 225,000) = 9 年

(2) 期末材料に含まれる内部利益: $$1,365 \times \frac{5\%}{100\% + 5\%} = 465

期末未成工事支出金に含まれる内部利益: ¥3,360× $\frac{5\%}{100\%+5\%}$ =¥160 ∴合計¥225

- (3) それぞれの仕訳は以下のとおりである。(単位:円)
 - 前期末

	(貸倒引当金繰入	58,000	(貸倒引当金)	58,000
2	当期貸倒時			
	(貸 倒 引 当 金	23,000	(完成工事未収入金)	23, 000
	(貸 倒 損 失	15, 000 *	(完成工事未収入金)	15, 000

- * 当期発生の完成工事未収入金には貸倒引当金は設定されていないため、貸倒引当金を取り崩すことはできない。
- ③ 当期末

(貸倒引当金繰入)	25,000	(貸倒引当金) 25,	000

* $\$2,000,000\times3\% - (\$58,000 - \$23,000) = \$25,000$

[第3問]

間 2 予定配賦額: \(\fomaga 320/\)時間\(\times 38\) 時間 = \(\fomaga 12, 160\)

間 3 予定配賦額総額: ¥320/時間×(38 時間+115 時間)=¥48,960

配賦差異:予定配賦額¥48,960-実際発生額¥46,800=¥2,160(有利(貸方)差異)

[第4問]

間 2

工事別原価計算表

(単位:円)

			93 工事	94 工事	95 工事	合 計
月初未成	工事原価					
材	料	費	198, 060	25, 610	_	223, 670
労	務	費	74, 530	12, 790	_	87, 320
外	注	費	95, 830	28, 330	_	124, 160
経		費	40, 710	10, 750	_	51, 460
当期発生	工事原価					
材	料	費	42, 650	107, 990	364, 540	515, 180
労	務	費	28, 470	57, 380	159, 410	245, 260
外	注	費	58, 500	84, 750	241, 960	385, 210
直	接経	費	21, 630	42, 890	95, 340	159, 860
工事	耳間 接	費	21, 060	37, 260	77, 760	136, 080
合	計	•	581, 440	407, 750	939, 010	1, 928, 200

現場共通費予定配賦額

94 工事:@\\\\\\\$1,620\times23\\\\\\\\\\\$1,260

完成工事原価報告書 … 93 工事と 95 工事の工事原価を集計する。

労務費: ¥74,530+¥28,470+¥159,410=¥262,410

現場共通費配賦差異当月発生額

予定¥136,080-実際¥130,930=¥5,150(有利(貸方)差異)

現場共通費配賦差異月末残高

¥5,711(借方)-¥5,150(貸方)=¥561(不利(借方)差異)

〔第5問〕

(1) 不渡手形について

(不 渡 手 形	18,000	(受	取	手	形)	18,000
(販売費及び一般管理費	18,000	(貸	倒 引	当	金)	18,000

(2) 貸倒引当金について

(販売費及び一般管理費) 3,840 *	(貸倒引当金) 3,840	
------------------------	---------------	--

(3) 棚卸減耗について

(未成工事支出金)	8,900	(材料	貯 蔵	品)	8,900
-----------	-------	-----	-----	-----	-------

(4) 減価償却について

(未成工事支出金)	8,000 *1	(機械装置減価償却累計額)	8,000
(販売費及び一般管理費)	50, 000 *2	(建物減価償却累計額)	50,000
(販売費及び一般管理費)	96, 000 * ³	(備品減価償却累計額)	96, 000

*1 予定計上額: \(\frac{\pma}{10}\),000×12 ヵ月=\(\frac{\pma}{120}\),000

実際発生額:¥128,000

∴ ¥120,000-¥128,000=△¥8,000(計上不足)

*2 ¥750,000÷15年=¥50,000

*3 ¥480,000÷5年=¥96,000

(5) 建物補修について

(建	物)	234, 000	(仮	払	金)	300,000
(販売費及び一	一般管理費)	66,000				

(6) 退職給付引当金について

(販売費及び一般管理費)	62,000	(退職給付引当金)	62,000
(未成工事支出金)	8,000 *	(退職給付引当金)	8,000

* 予定計上額: ¥15,000×12 ヵ月=¥180,000

実際発生額:¥188,000

∴ ¥180,000-¥188,000=△¥8,000(計上不足)

(7) 仮設撤去費について

(未成工事支出金)	12,000	(工事未払金)	12,000

(8) 完成工事補償引当金について

(完成工事補償引当金)	690 *	(未成工事支出金)	690

* ¥6,010,000×0.1%-¥6,700=△¥690(戻入)

(9) 完成工事原価について

(完成工事原価) 61,210 * (未成工事支出金) 61,210

*

	未成工事支出金		(単位:円)
試算表	850,000	(8)	690
(3)	8, 900		
(4)	8,000	当月完成	61, 210
(6)	8,000		
(7)	12,000	次期繰越	825, 000
	886, 900		886, 900

(10) 保険料および営業経費について

(前 払 保 険 料)	7, 000	(販売費及び一般管	理費)	7,000
(販売費及び一般管理費)	25,000	(未 払	金)	25,000

(11) 法人税等について

(法人税、住民税及び事業税) 398,660 * (未 払 法 人 税 等) 398,660

* 税引前利益¥996,650×40%=¥398,660

	損 益	計 算	(単位:円)
完成工事原価	3, 781, 010	完成工事高	6, 010, 000
販売費及び一般管理費	1, 195, 840	受取利息配当金	1,500
支 払 利 息	38,000		
税引前当期純利益	996, 650		